

## 外航貨物保険の保険金請求へのブロックチェーン技術適用に向けた実証実験の完了

東京海上日動火災保険株式会社（取締役社長 北沢 利文 以下：東京海上日動）と株式会社NTTデータ（代表取締役社長 本間 洋 以下：NTTデータ）は、外航貨物海上保険における保険金請求へのブロックチェーン技術適用に向けた実証実験※1を完了しましたので、お知らせします。

外航貨物海上保険における保険金請求プロセスへのブロックチェーン技術の適用を、世界8拠点で完了したのは国内で初めてであり※2、国際的にも先駆的な取り組みです。

※1 2017年10月31日付ニュースリリース「外航貨物保険の保険金請求へのブロックチェーン技術適用に向けた実証実験を開始」

[http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/171031\\_01.pdf](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/171031_01.pdf)

<http://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2017/103101.html>

※2 東京海上日動ならびにNTTデータ調べ

### 1. 背景

海外で貨物事故が発生した際に、主に事故対応を行う拠点（海外クレーム代理店）が保険金をお支払いする際には、紙やPDFファイル等で存在している事故報告書や貨物の損傷写真、Invoice（商業送り状）等の貿易関連書類ならびに保険証券を収集する必要があり、さらに保険会社へ補償内容をメール等で確認する必要があります。また、海外クレーム代理店と鑑定会社との間で、事故の内容等に関して情報共有も必要となります。

このため、海外クレーム代理店が、世界中に点在する貿易関連書類と最新の保険証券の収集、関係者との情報共有をいかに迅速かつ正確に実施できるかが、迅速な保険金支払い手続きを実現する上での課題となっています。

「ブロックチェーン」はデータの耐改ざん性を確保した状態でネットワーク参加者間での情報共有が可能な分散ネットワーク技術であり、東京海上日動とNTTデータは2017年11月から、外航貨物海上保険における保険金請求プロセスへのブロックチェーン技術適用に向けた共同実証実験を開始しました。

### 2. 実証実験概要

#### (1) 内容

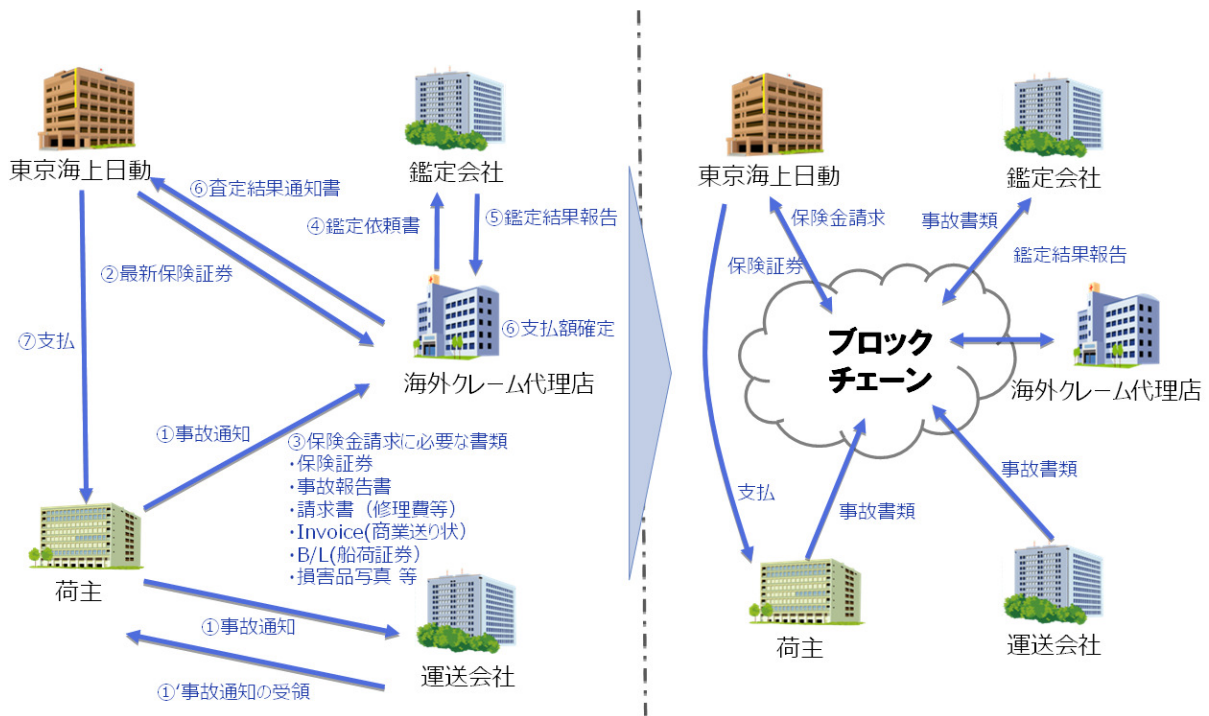
本実験では、事故報告書や貨物の損傷写真、Invoice（商業送り状）等の実際の保険金のお支払い業務で利用したデータをブロックチェーン上に流通させて、欧州、米州、アジアの計8拠点の海外クレーム代理店ならびに鑑定会社へ速やかに共有され、保険金のお支払いプロセスに利用できるかを検証しました。

技術面では、貨物の損傷写真やサーベイレポート（鑑定結果の報告書）などの大容量データを、ブロックチェーン上で円滑に参加者間で共有できることが確認できています。また、適切なアクセス性能や業務効率性の観点からの検証も行いました。

#### 【検証した海外の拠点】

- ・欧州：ドイツ、オランダ
- ・米州：米国、チリ
- ・アジア：中国、台湾、韓国、タイ

外航貨物保険・保険金支払い実証実験イメージ



(2) 実施時期

2017年11月～2018年8月

(3) 検証結果

本実験で実証できた主な結果は以下の通りです。

<確認された期待効果の例>

	期待効果
被保険者（荷主等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保険金請求に必要な書類の用意や、提出にかかる業務の削減</li> <li>・ 保険金支払いの迅速化（最大1か月超が1週間程度まで短縮可能）</li> </ul>
保険会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外クレーム代理店への情報共有業務の削減</li> </ul>
海外クレーム代理店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保険金請求に必要な書類のご案内、取り付けにかかる業務の削減</li> <li>・ 保険会社へ保険の契約内容を確認する業務の削減（時差により確認作業が遅延する等の影響を極小化）</li> <li>・ 鑑定会社への情報を連携する業務の削減</li> <li>・ 保険情報を含む必要情報の即時入手による保険金支払いの迅速化</li> </ul>
鑑定会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早期の書類取り付けによる鑑定作業の迅速化</li> <li>・ 保険の契約内容の即時入手による鑑定作業の品質向上</li> </ul>

3. 今後について

本実証実験を通じて、外航貨物海上保険の保険金請求プロセスへのブロックチェーン技術を適用することの有効性が確認できました。

東京海上日動とNTTデータは、本実証実験を通して得られた課題への対応を継続して検討し、2019年度中に一部を実用化することを目指して、取り組んでいきます。

以上